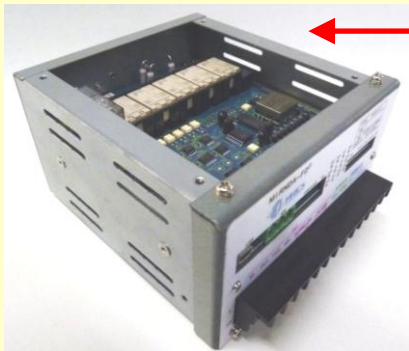


火炎監視装置 MIRNDA-FD[®]

(商標登録番号: 登録第 5362920 号)

外 観

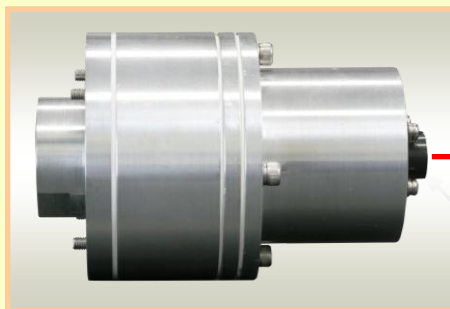
内部判定基板



火炎判定器



現場センサ



シールドケーブル接続

接続コネクタ

専用コネクタで取合う

- ・ 本図は単一基板を一つの箱に収納する単体ボックス型を示す。
- ・ 複数基板収納用の 19 インチラック型も別途あり。

特 徴

◇ 工業用燃焼炉の安全通則 (JIS B 8415:2008) に準拠

2008 年 11 月に施行された新 JIS 規格に対応した火炎監視装置。

- ① 火炎検出器と安全制御装置 (燃料遮断弁制御) で構成。
- ② 工業炉点火前に火炎有無存在を確認する安全スタートチェックケースを搭載。
- ③ 自己診断機能を搭載。(1 日 1 回以上の正常動作確認が可能)
- ④ センサは半導体、他のセンサ回路部品も高信頼性品を採用して長寿命を達成。
- ⑤ 自己診断機能は電気回路的に実施。機械部材のシャッターメンテナンスは不要。

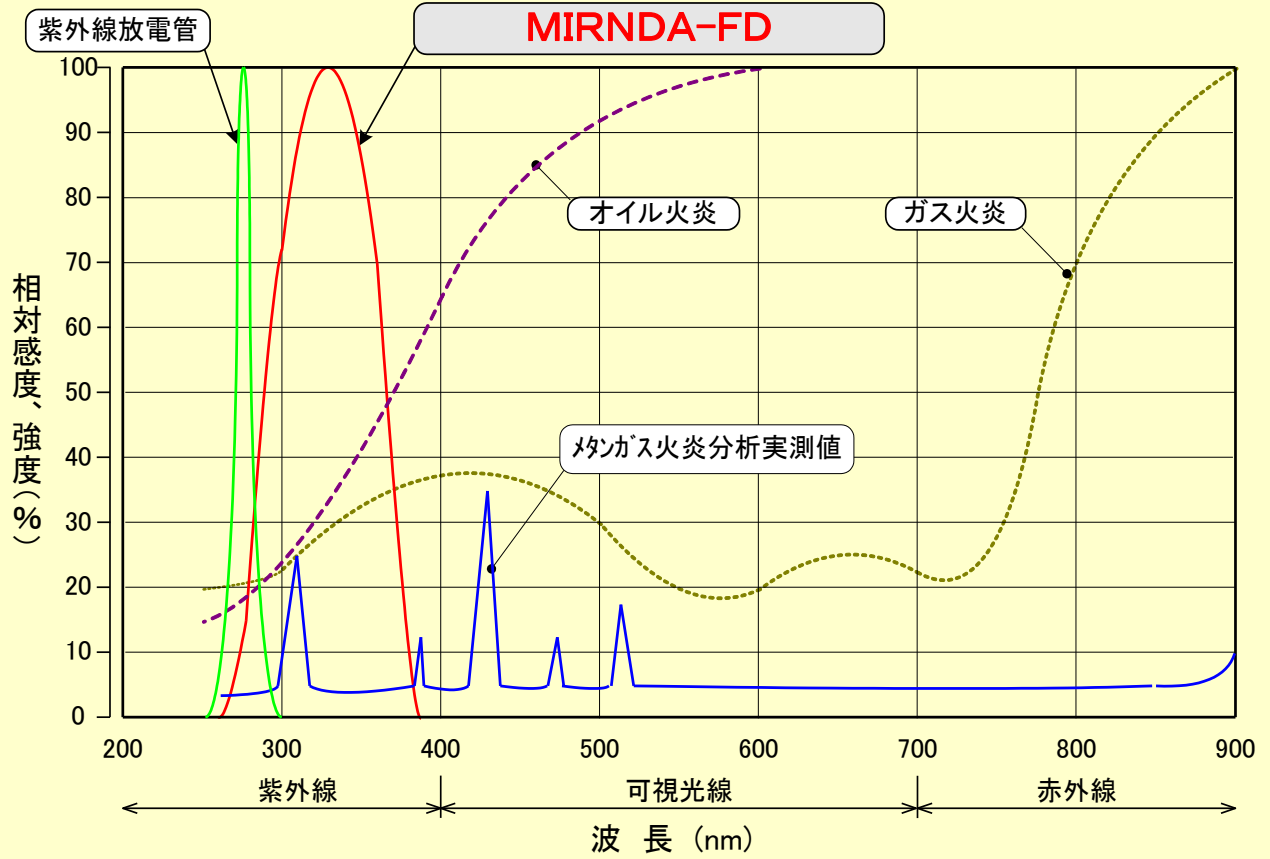
◇ 多様な燃料 (ガス、オイル) の火炎が検出可能

センサの検出波長領域はガス、オイルの両火炎から発生する近紫外線の発光波長と合致しており両火炎を安定して検出。

◇ 低 NOx 運転の火炎を安定検出

検出波長を近紫外線域とし幅を持たせた事により、低 NOx 運転時に発生する火炎検出エリアの雰囲気悪化の影響を軽減。

分光特性



製品仕様

部位	項目	仕様
センサ	検出方式	近紫外線の輝度強度検出
	検出波長	近紫外線領域 280nm~380nm
	熱線識別能力	1000°Cの輻射光は火炎として見做さない。
	自己診断機能	センサ回路初段の入力を定期的に0とし、その周期に同期して火炎検出回路が火炎なしとなる事を確認。
	許容温度	-20°C~+125°C
	供給電源	DC12V (判定器より供給)
	寸法、重量	外径φ76mm×120.5mm (L)、約740g
判定器	外部出力接点信号	点火トランスON×1a、ハット弁開×2a、主弁開×1a、火炎あり×1a、警報×1a
	接点最大負荷電流	警報：3A (AC250V/DC30V)、その他：10A (AC250V/DC30V)
	外部入力信号	インターロック信号×1、起動指令×1、ロックアウトリセット×1
	動作環境	0~+60°C
	通信方式	USB/EIA485 (切替式)
	火炎輝度レベル出力	DC0~11V/DC4~20mA (切替式)
	供給電源	AC85~265V (47~63Hz)
	寸法	単体ボックス型：78mm (H) × 125mm (W) × 135mm (D)：端子台突起寸法 15mm 含まず 19 インチラック型：300mm (H) × 480mm (W) × 300mm (D)

・上記資料の内容は予告なく当社都合で変更する場合がありますのでご注意ください。

・当資料に関するあらゆる著作物・知的財産は株式会社MHPS コントロールシステムズに帰属します。(2014年12月)